25　　五人の求婚者 　　　　　　　　　　　助動詞⑩　めり・音便

かぐや姫のいはく、「よくもあらＡぬかたちを、深き心も知らで、あだ心つきＢなば、後くやしきこともあるべきを、と思ふばかりＣなり。世のかしこき人なりとも、深き心ざしを知らでは、あひがたしとなむア思ふ」と言ふ。

翁のいはく、「思ひのごとくものたまふかな。そもそも、いかやうなる心ざしあらＤむ人にかあはむと思す。かばかり心ざしおろかならぬ人々Ｅにこそあめれ」と言ふ。かぐや姫のいはく、「なにばかりの深きをか見むと言はむ。いささかのことなり。人の心ざし等しかんなり。いかでか、中に劣り優りは知らＦむ。五人の中に、ゆかしき物を 見せたまへらむに、御心ざしまさりＧたりとて、仕うまつらむと、そのイおはすらむ人々に申しウたまへ」と言ふ。「よきことなり」と受けつ。

【本文チェック】

①　ア～ウの用言の、活用の種類（動詞は活用の行も）・文中での活用形を書きなさい。

　ア（　　　　　活用　　　　形）　　イ（　　　　　活用　　　　形）

　ウ（　　　　　活用　　　　形）

②□Ａ～Ｇの助動詞の、文法的意味・文中での活用形を書きなさい。

　Ａ（　　　　　・　　　　　形）　　Ｂ（　　　　　・　　　　　形）

　Ｃ（　　　　　・　　　　　形）　　Ｄ（　　　　　・　　　　　形）

　Ｅ（　　　　　・　　　　　形）　　Ｆ（　　　　　・　　　　　形）

　Ｇ（　　　　　・　　　　　形）

③傍線部の現代語訳を完成させなさい。

　（　　　　　　　　　　　　　　　）人

【語彙力 ✚】

問１　次の語句の読みを、現代仮名遣いで答えよ。

１　翁〔４〕（　　　　　　　）

問２　次の語句の意味について、空欄を埋めよ。

１　かたち〔１〕　（　　　　　　　　　）

２　あだ心〔１〕　（　　　　　　　　　）

３　くやし〔１〕　（　　　　　　　　　）

４　心ざし〔２〕　①意向

　　　　　　　　　②（　　　　　　　）

　　　　　　　　　③贈り物

５　いかやうなり〔４〕（　　　　　　　　　　　）

問３　次の傍線部の意味として最も適当なものを選べ。

１　年のほどよりも、御手などのわざと賢うこそものしたまふべけれ。

（源氏物語）

ア　恐れおおい　　イ　恐ろしい

ウ　立派だ　　　　エ　ありがたい

　（　　　）

２　かぐや姫ののたまふやうにはず作りいでつ。（竹取物語）

ア　おっしゃる　　イ　お思いになる

ウ　指図する　　　エ　お書きになる

　（　　　）

３　ねびゆかむさまゆかしき人かな、と目とまりたまふ。（源氏物語）

ア　奥ゆかしい　　　イ　美しい

ウ　とんでもない　　エ　見たい

　（　　　）

【文法力 ✚】

問４　次の活用表の空欄を埋めよ。

|  |  |
| --- | --- |
| めり | 基本形 |
| ○ | 未然形 |
| （　　） | 連用形 |
|  | 終止形 |
|  | 連体形 |
|  | 已然形 |
| ○ | 命令形 |
|  | 意味 |

問５　⑴　次の傍線部の助動詞の、文法的意味と文中での活用形を答えよ。

　　　①　（仏前の）すだれ少し上げて、（仏に）花るめり。（源氏物語）

　　　意味（　　　　　　　　）　活用形（　　　　　　　　）

　　　②　は、むげにいやしくこそりゆくめれ。（徒然草）

　　　意味（　　　　　　　　）　活用形（　　　　　　　　）

　　⑵　次の傍線部中の「あ」のもとの形を答え、傍線部を現代語訳せよ。

　　　今ひときは心も浮き立つものは、春のにこそあめれ。（徒然草）

　　　もとの形（　　　　　）　訳（　　　　　　　　　　　）

【古典常識】

問６　平安時代の貴婦人は、親兄弟や夫以外に顔を見せることはなかったため、男性は女性の家柄や「美人だ」「琴や歌の才能がある」といった評判や、「（垣根や戸の隙間からのぞき見ること）」をきっかけに、興味をもった女性に求婚した。求婚は「」（和歌を添えた手紙）を女性に送ることで行われた。

　　　「求婚する」という意味の語を、次から一つ選べ。

ア　よばふ　　イ　ふ

ウ　契る　　　エ　住む

　（　　　）

【解答】

【本文チェック】

①　ア＝ハ行四段・連体　イ＝サ行変格・終止　ウ＝ハ行四段・命令

②　Ａ＝打消・連体　　　　Ｂ＝完了・未然　Ｃ＝断定・終止

　　Ｄ＝婉曲（仮定）・連体　Ｅ＝断定・連用　Ｆ＝推量・連体

　　Ｇ＝存続・終止

③　お見せになったとしたら

問１　おきな

問２　１＝容貌・顔立ち　２＝浮気心　　　　３＝後悔される

　　　４＝愛情　　５＝どのようである

問３　１＝ウ　２＝ア　３＝エ

問４　（めり）　○ ｜ めり ｜ めり ｜ める ｜ めれ ｜ ○　意味＝推定・婉曲

問５　⑴　①＝推定・終止形　②＝婉曲・已然形

　　　⑵　もとの形＝ある　訳＝あるようだ

問６　ア

【現代語訳】

問３　１　年のわりには、ご筆跡などが特別に立派でいらっしゃるようだ。

　　　２　かぐや姫のおっしゃるとおりに食い違うことなく（玉の枝を）作りだした。

　　　３　大人になっていく様子を見たい人だなあ、と注目なさる。

問５　⑴　①（仏前の）すだれを少し巻き上げて、（仏に）花をお供えしているようだ。

　　　　　②今の世の様子は、ひどく下品になっていくようだ。

　　　⑵　今一段と心も浮き浮きするものは、春のありさまであるようだ。